

# 6月議会を前に

## 日本共産党 議員団

# 市政報告会

国宝の刀剣購入の契約案件のほか、暮らしに直接関わる議案の上程が予想される6月議会が、6月1日に招集されます。

日本共産党議員団は、この6月議会を前に、市民のみなさんに市政の状況を詳しく伝え、みなさんの暮らしの願いをお聴きする「市政報告会」を、下記日時に行います。

秋には市長選挙があるほか、安倍政権の暴走が止まらない中、「市は市民の命と暮らしをしっかりと守ってほしい」という願いがかつてなく強まっています。今、市政はこうした声に正面から応えているのかをしっかりと報告するとともに、みなさんの日頃の願いを議会に確実に生かしてまいります。

お誘い合わせの上、お気軽にお越しください。

★日時 5月23日(火)

午後6:30~8:30

★会場 市民プラザ 第4会議室

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 545 2017年5月14日

連絡先  
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)



# 労働者の祭典に100人超



参加者は、集会の後、小雨の中、市内を元気にパレードし、街頭から市民にアピールしました。

5月1日は、労働者の祭典「メーデー」です。第88回メーデー上越集会が、同日雁木通りプラザを会場に行われました。労働条件が年々厳しくなり、メーデーといっても職場を休めないという状況の中で迎えた平日(月曜日)のメーデーでしたが、市内から100人を超える働く仲間が集い、「労働者の暮らしと権利を守る」「憲法改悪を許さず、日本と世界の平和を守る」「過労死ラインまで働かせる『働き方改革』を許すな」などを訴えました。

# 直江津空襲から72年 悲劇くり返すな

「直江津空襲と平和を考える会」(関川幹雄会長)は直江津空襲から72年目となる5日午前、平和集会を開きました。会場の黒井公園には、市内外から25人が参加し、児童文学者の杉みき子さんなどが戦争体験を語りました。直江津空襲は、1945年5月5日、米軍のB29が上越市黒井を襲い、死者3人、重軽傷者4人という県内初の犠牲者を出した空襲です。こうした戦争の悲劇は絶対にくり返してはなりません。杉みき子さんは、「いまの世の中、あぶなくなっている。そうだなと思っっている。それにしっかり対抗していく気持ちは持ち続けたい。今日のような集いでたくさん力をいただくことをありがたく思うし、それを力に生きて

「直江津空襲と平和を考える会」が平和集会



春の陽気に、お地藏さんも思わずうたたね?